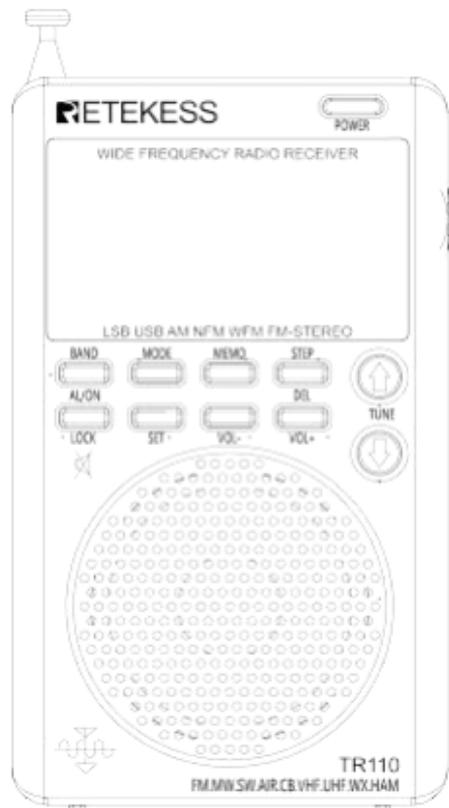


RETEKESS



TR110

取扱説明書

FM/MW/SW/AIR/CB/VHF (UHF) /UBD/WX/

ハムワイド周波数ラジオレシーバー

このたびは、**Retekess** の **Digital Reconciliation** フルバンド ラジオ (モデル: TR110) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ラジオ愛好家のエントリーレベルの製品であり、ラジオ愛好家の補助製品でもあります。

クロスカントリー活動愛好家 (VHF/UHF ステーション受信)。飛行機によく乗る人向けのフライト情報を提供できます。

ご使用前にこのマニュアルをお読みいただき、今後の参考のために保管してください。

Packing List:

Name	Quantity
TR110 radio	1
In-ear headset	1
BL5C lithium battery 1000mAh 3.7V	1
USB Type-C cable	1
User manual	1
Arm hanging rope	1
Storage bag	1

コンテンツ

送信機.....	01
部品とコントロールの位置.....	01
オペレーション.....	01
仕様.....	02
受信機.....	02
部品とコントロールの位置.....	02
オペレーション.....	03
仕様.....	03
パッケージ一覧.....	03
警告.....	04

TR110 フルバンド無線の概要:

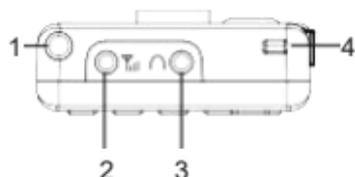
FM (周波数変調) / MW (中波) / SW (短波) (変調モード付き短波片面) / SSB (上側波帯) / LSB (下側波帯) / AIR (航空機バンド) / CB (シティーバンド) / VHF (超高周波バンド) / UHF (超高周波バンド) / UBD (ユーザー定義バンド) / WX (北米国立気象バンド)

1. 製品はコンパクトで持ち運びが簡単で、強力な機能を備えたラジオ
2. 最新のDSPデジタル復調技術がフルバンドラジオに使用され、受信感度、選択性、アンチミラー干渉能力が向上します。
3. FM受信範囲は64MHz~108MHzです。FM放送の受信やグローバルFMラジオの受信に適しています。
4. 短波単側波帯の単側波帯SSBと下側波帯LSBは、独立して信号を受信できます。
5. 3種類の選局方法: 自動検索保存局 (ATS)、手動検索事前保存局 (VM)、ラジオ局手動検索 (VF)。
6. 無線アドレス番号を表示できます。ラジオ局の周波数を自動的に閲覧し、事前に保存されたラジオ局の周波数を自動的に閲覧します。高速スキャン; シャトルチューニング、シャトルステップング設定 (10Hzをサポート)、シャトルステップング桁の調整可能なデザイン (周波数をすばやく選択するため)
7. SET メニューには、次の詳細設定があります。
 - A. 調整可能なアンテナ入力減衰コントローラー回路。ATT
 - B. さまざまな帯域幅の調整可能な回路。帯域幅
 - C. 9 レベルのスケルチ値を調整できます。SQ
 - D. FM バンドモード DE でのディエンファシスの選択
8. 各波長帯のステップ値を多数調整可能 STEP
9. 摂氏温度/華氏表示可能
10. 自動スリープ時間と自動起動時間を設定できるだけでなく、ロックとミュート状態も設定できます。
11. 受信状態は、ノイズ制限率と受信感度基準値を表示できます。
12. ラジオには大きなメモリスぺースがあるため、最大1000のラジオ局を保存できます。この製品は、メモリーステーションの手動削除をサポートしています。
13. 外部アンテナ 3.5mm入力に対応。
14. 外部スピーカーと3.5mmヘッドフォン出力が使用できます。
15. 内蔵スピーカーとUSB Type-C充電ポート内。
16. 長いバッテリー寿命のための取り外し可能な1000mAh BL5Cリチウムバッテリー
17. 製品のバックライトは、夜間/暗い場所で使用できる暖かいオレンジ色のライトです。

製品ボタンの説明:

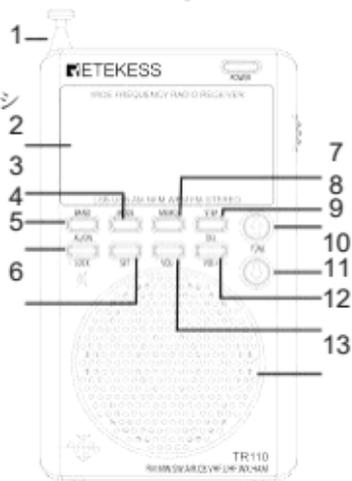
製品の上部:

1. 伸縮アンテナ接続
2. 3.5mm 外部アンテナポート
3. 3.5mmヘッドホンジャック
4. ストラップホール



正面図:

1. 七節伸縮アンテナ
2. 桁LED表示Mode Selection
3. 目覚まし時計/バンド切り替え/自動ステーション検索と保存を有効にする
4. ロック/ミュート ボタンの設定
5. メニュー/時計/アラーム設定に入る
6. 放送局登録/放送局選択ボタン
7. ステップ値の設定/登録



局の削除

8. 時間を選択10. Select station-/時間-

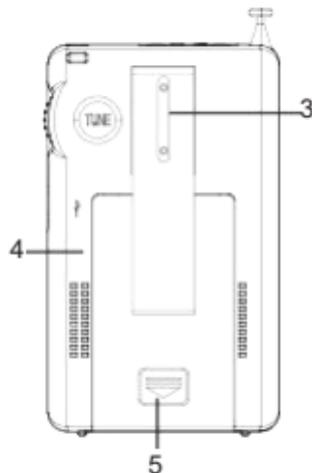
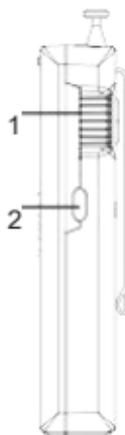
11. Volume +

12. Volume - 13. スピーカー

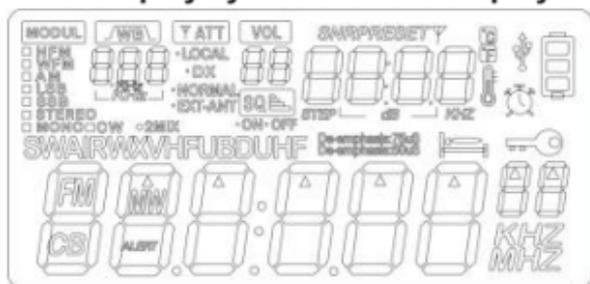
製品の右側面図と背面図:

1. チューニングノブ
2. Type-C充電ポート
3. バッククリップ
4. バッテリーカバー
5. Tips for pushing down

電池カバーの押し下げのコツ



Description of display symbols on the display screen



MODUL: 変調モード切り替え表示 **NFM:** 狭帯域FMモード

WFM: ブロードバンドFMモード **AM:** AM方式

LSB: 片側波帯の下側波帯 **SSB:** 片側波帯の上側波帯 **STEREO:** FMモードでのステレオ受信状態 **MONO:** FMモノラル受信状態

2MIX: 二次周波数変換表示 **BW:** 各バンドの帯域幅選択

ATT: アジャスタブルゲイン アッテネーション コントローラー回路選択:

LOCAL/DX VOL: 音量レベル (00 ~ 40)

SQ ON: スケルチ受信状態

SQ OFF: 非スケルチ受信状態 **SNR:** Signal Noise Ratio

PRESET: あらかじめ登録された放送局 **STEP:** ステップ値設定画面

△: チューニングステップマーク

dB: SNRと受信感度の単位

℃: 摂氏温度

℉: 華氏

🌡️: Thermometer温度計

🔋: Charging indication symbol充電表示記号

🔋: Battery power display symbolバッテリー残量表示記号

🔔: Alarm setting display symbol警報設定表示記号

🕒: Symbol to set sleep and shutoff timeスリープ時間とシャットオフ時間を設定する記号

🔒: Locked stateロック状態

FM: 周波数変調受信モード **CB:** シティバンド受信モード

MW: 中波受信モード **SW:** 短波受信モード

AIR: 航空機バンド受信モード **WX:** ウェザーバンド受信モード
VHF: 超高周波モード **UHF:** 超高周波モード
UBD: カスタム入力周波数モード **ALERT:** アラーム表示記号
De-emphasis: 50uS / De-emphasis: 75Us: De-emphasis 表示
EXT-ANT: 外部アンテナのインジケーター

操作上の注意:

この無線機を使用する前に、製品を安全かつ確実に使用するために、次の基本的な安全上のヒントに従う必要があります。

- ◆すべての安全ガイドラインと使用情報を読んで理解してください。
- ◆オリジナルのリチウム電池をお勧めします。
- ◆の出力電圧の充電器を使用することをお勧めします。
リチウム電池またはデバイスへの損傷を避けるためのDC5V / 1A-3A。
- ◆リチウム電池を長期間使用しない場合は、取り出して保管してください。
別々に保管してください。月に一度充電してください。
- ◆製品を雨、湿気、しずく、または液体の飛沫にさらさないでください。
- ◆製品を高温および熱源の近くに保管しないでください。しない
高温で焼くか吹き飛ばします。
- ◆直射日光に長時間さらさないでください。
- ◆製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。強い圧力をかけないでください。
- ◆注意: TV セット、コンピュータ、発電機、電気モーター、その他の電気機器、およびその他の信号発生器も、ラジオが受信する信号に干渉する可能性があります。上記の機器から一定の距離を保ってご使用ください。
- ◆本製品のアンテナは7段伸縮アンテナ（露出部56cm）です。比較的長いです。
曲げたり、壊したりしないでください。

ボタンの機能と操作の説明:

1: バッテリーを取り付けます。

電池カバーを開き、**BL5C** リチウム電池をプラスとマイナスの極性に従って正しく挿入し、電池カバーを覆います。

バッテリーを取り付けると、ラジオのバックライトがオンになり、時刻の状態が表示されます。

2: **[POWER]** 電源オン/オフ/スリープタイマー設定:

2.1.電源ON/OFF機能

時刻状態で、**POWER** ボタンを押してラジオをオンにします。

電源がオンの状態で、**POWER** ボタンを長押しすると、ラジオがオフにな

ります。

2.2.スリープタイマーの設定:

スリープタイマーを有効にするには、ラジオがオフの状態では [POWER] ボタンを 2 秒間押し続けます。画面に「90」分が表示されます。[POWER] ボタンを短く押して、90-80- の希望の値を選択します。70-60-50-40-30-20-10分。

スリープタイマーが設定されると、LCD ディスプレイに が表示されます。

注: スリープタイマーは、設定した時間が経過すると自動的にラジオをオフにします。

2.3.SNR&RSSI機能とタイムスイッチ表示を有効にする

ラジオ動作状態: [POWER] を短く押して、SNR&RSSI 機能とタイムスイッチ表示を開始します。

これは、SNR と受信感度の参考値です。時間ステータス:

3. [ロック]: ロック、ロック解除/ミュート操作を設定します。

3.1.ロックとロック解除の設定:

電波ON/OFF状態でLOCKボタンを2秒長押しすると「」と表示されます。すると、すべてのボタンが操作できなくなりました。

再度 [LOCK] を 2 秒間長押しし、「」マークが消えると、すべてのボタンが操作可能になります。

3.2.ミュートモードを設定します。

ラジオが動作している状態で [LOCK] ボタンを短く押すと、「VOL 00」記号がディスプレイ上で点滅し、ラジオはミュートモードに入ります。

ミュート状態で [LOCK] を短く押すと、現在のサウンドレベルが復元されます。このとき、ミュート機能は無効になります。

4.外部DC5V入力電源操作:

電池記号にスペースが表示されている場合は、Type-C 充電ケーブル (工場標準付属品の TYPE-C USB ケーブル) を DC5V 電源に接続してラジオを充電してください。

充電中は、バッテリー記号「」が点滅し続けます。ラジオが完全に充電されると、バッテリー記号の点滅が止まり、フル表示になります。

5.3.5mm ヘッドフォンジャック操作:

ラジオ番組を聴きながら、ラジオ自体のスピーカーを使用できます。

3.5mmプラグのイヤホンも。(他の人の邪魔にならないように、3.5mm イヤホンを使用してください)。

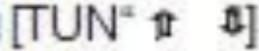
6.音量[VOL+/-]:

「[VOL+]」と「[VOL-]」を短く押すと、最小ステップに従って音量が 1 ステ

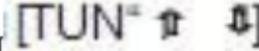
アップずつ増減します。.

「[VOL+] と [VOL-]」を長押しすると、音量が急激に増減します。調整可能な音量範囲は 00 ～ 40 レベルです。

6. [MEMO]: 手動格納/受信局操作: 7.1: 手動格納ラジオ局:

-  を押して希望の周波数に調整します。]]

- [MEMO] ボタンを 2 秒間長押しすると、PRESET と「Pxxx」記号が同時に点滅します。(PRESET はプリセットステーションプロンプト、「Pxxx」はストレージステーションアドレスプロンプトです。)

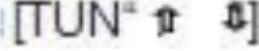
- [MEMO] を短く押すか、 " を押します。"] を同時に押して、周波数アドレスを選択します。

- [MEMO] を短く押すと、LCD に「Sxxx」が約 2 秒間表示され、目的の周波数ポイントが目的のメモリ番号に保存されたことを示します。

注: 各バンドには 100 個のメモリーステーションを保存できます。 7.2: ステーションをピックアップする方法:

- 7.1方式でステーションを保存するか、BANDを長押しして自動的にステーションを検索することができます。

- [MEMO] を短く押すと、LCD に「PRESET」と「Pxxx」が表示されます。

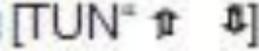
- 短押し  目的の局番の周波数を取得するには、ブロードキャストラジオ信号を取得できます。

注: 3 秒以内に操作しないと、選択操作が終了します。

8. [TUN[▲], ▼]: 時刻設定/局選択ボタン:

8.1: 時刻設定:

時間状態: [SET] を 2 秒間長押しすると、時間の数字が点滅し

ます。 を短く押して、現在の時間を設定します。

[SET] ボタンを押すと、分が点滅し、 を押して現在の分を設定します。

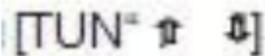
注: ラジオ時間は 24 時間形式で表示されます

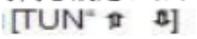
8.2: 目覚まし時計 (自動電源オンの設定) の設定: 8.1 の方法で現在の時刻を設定します。

[BAND]、目覚まし時計のシンボルを押します“☀” will display.

- [BAND] をもう一度押すと、目覚まし時計の記号が消え、目覚まし時計の時間がキャンセルされます。

- [SET] を 2 秒間長押しします。 - アラーム時間番号「xx」が点滅します。

[TUNE] を短く押します。  時間を設定します。

[SET] を押すと、アラームの分番号「xx」が点滅し、  を押し
て分を設定します。

8.3. ラジオ局選択操作:

- ラジオ動作状態:

事前に保存されたラジオ局がある場合は、【MOME】を短く押すと、
LCD に「PRESET」と「Pxxx」が表示されます。

もう一度【MOME】を押すと、選局操作がキャンセルされ、ディスプレイの「PRESET」と「Pxxx」が消えます。

-[TUNE“↑, ↓”] ボタンを押すと、ラジオ局が増減します

-[TUNE“↓, ↓”] を長押しすると、ラジオは自動的に検索局機能に入ります。ステーションが見つかると、検索を停止し、検索されたステーションの再生を開始します。

9.[BAND]: バンド切り替え/自動検索と保存/目覚まし時計のオン/オフ操作:

9.1 : バンドスイッチ::

ラジオ運用状態で[BAND]を押すと、FM/MW(AM)/SW/AIR/C-B/VHF(UHF)/UBD/WXバンドが切り替わります

9.2 自動ステーション検索と保存:

[BAND] を 2 秒間長押しすると、自動スキャンとステーション保存機能が開始されます。

-ラジオは、現在の受信バンドで最低周波数から最高周波数まで検索し、信号のあるステーションを保存します。

-自動ステーション検索と保存が完了すると、最初のステーションが自動的に再生されます

・オートサーチ中、ディスプレイに「PRESET」と「P x x x」が点滅し、周波数が急激に変化している。

-注意: -自動検索中に任意のキーを押すと、自動検索が停止します。

-自動ステーション検索と保存中に、事前に保存されたステーションが更新されます。

9.2 :9.2 時間状態: [BAND] ボタンを押して目覚まし時計のオン/オフを切り替えます (特定の操作については 8.2 を参照してください)。

10.ステップ/削除 [STEP] 設定:

10.1 ラジオ動作状態で、[STEP] を押して s 値を設定します 詳細なステップ オプションは各バンドで使用できます。

① FM step options: 50.0KHZ,10.0KHZ,100.0KHZ.

② AM frequency: 522-1710KHZ, step options: 9.0KHZ,3.0KHZ, AM frequency: 520-1710KHZ, step options: 10.0KHZ, 5.0KHZ

③ SW step options: 5.0KHZ, 1.00KHZ, 0.10KHZ, 0.02KHZ, 0.01KHZ.

④ AIR step options: 25.0KHZ, 12.5KHZ, 8.3KHZ

⑤CB step options: 5.00KHZ, 1.00KHZ, 0.10KHZ, 0.02KHZ, 0.01KHZ

⑥VHF/UHF & UBD step options: 25.0KHZ, 12.5KHZ, 7.5KHZ, 5.0KHZ, 1.0KHZ

Once the step value is selected, the system will default to the last selected

step value. Press  "] to confirm the selected step value.

 [TUN*10.2: Delete
Station

In radio working state, after manually storing the station according to the

above 7.1 or automatic searching and saving the station according to the above 9.2.

- [Memo] を押し、ディスプレイに PRESET "Pxxx" が表示されたら、[TUN] を押しします。」

] を押しして削除したい放送局を選択し、[STEP] を 2 秒間長押しします。「DEL & Exxx」が点滅し、[STEP] を押すと現在の放送局が削除されます。

- 5 秒以内に [STEP] を押すと、次の登録済み放送局が削除されます。

5 秒以内に操作しないと、ラジオはステーションの削除設定を終了します。または、PRESET 「P」表示中に [STEP] を押しして設定を終了します。

11. メニュー/時計設定:

11.1. 時間設定: シャットダウン状態で、[SET] を 2 秒間長押しし、[SET] を押ししてから、「または」を押して時計設定に入ります (8.1 の詳細を参照)。11.2. ラジオ動作状態で、[SET] を押ししてメニュー設定に入ります (特定の操作については 14 を参照してください)。

11.3. WX バンドでは、[SET] を長押しして ALERT 機能を有効にし、「SCAN」が点滅し、[SET] を長押ししてアラート機能を終了します。

注: SCAN は、WX が NOAA アラート状態のサイレント検出の状態にあることを示します。アラート信号がある場合、サウンドまたはアラームが発せられます。

12. チューニングノブ:

無線動作状態: ノブを回して、周波数表示ビット値を調整します。値を調整すると、対応する「△」が点滅します。[STEP] を押しして、希望の値を選択します。ノブを回して、目的の周波数をすばやく選択します。

13. [モード] 設定:

13.1. 無線動作状態で、[SET] を押しして設定モードに入り、[MODE] を押しして対応するサブメニュー機能を選択します。

13.2. 短波 (SW) & 超短波 (VHF) & 航空機 (AIR) バンドでは、スタンバイモードで [MODE] キーを押してメーターバンド機能を切り替えます。13.2.1: 短波 (SW) 受信状態で、[MODE] を押ししてメーターバンドを切り替えます。周波数は次のとおりです。

3.20000MHZ、3.75000MHZ、3.90000MHZ、4.75000MHZ、5.73000MHZ、
7.10000MHZ、9.25000MHZ、11.50000MHZ、3.57000MHZ、15.03000MHZ、
17.48000MHZ、18.90000MHZ、21.45000MHZ、25.67000MHZ

13.2.2: 超高周波 (VHF) を押ししてから [モード] を押ししてメーターバンドを切り替えます。周波数は次のとおりです。

VHF30.00MHZ、VHF136.00MHZ、VHF174.00MHZ、VHF220.00MHZ、
UHF409MHZ、UHF446.0620MHZ、UHF462.5620、UHF443.00

13.2.3: AIR 受信状態で、[モード] を押ししてメーターバンドを切り替えます。周波

数は次のとおりです。

118.00MHZ、123.00MHZ、128.00MHZ、133.00MHZ、138.00MHZ

13.3.事前に保存された放送局のプレビュー 7.1 または 9.2 の設定後、

- 放送局を受信バンド (北米諸国の WX Weather バンドを除く) に保存した後、[MODE] を 2 秒間長押ししてプレビュー機能に入ります。「Lxxx」が点滅します。

-5秒ごとに放送局を切り替えます。いずれかのボタンを押してプレビュー機能を終了します。

ヒント: 希望のラジオ局を設定した後、MODE ボタンを長押ししてプレビューモードに入ります。プレビューモードは、現在の最も低い局から開始し、5 秒ごとに局を切り替えます。任意のキーを押すと、プレビューモードを終了できます。

放送中、信号のないラジオ局は自動的にスキップされます。指定されたラジオ局をすばやく見つけて、プリセットされたラジオ局をすばやくキャプチャする目的を実現するのに役立ちます
13.1.シャットダウン状態で、[モード]を短く押して華氏/摂氏を切り替えます。

14.各バンド設定:

14.1MW (中波) 受信状態:

14.1.1.[設定]を押します。帯域幅「BW」が点滅し、[MODE] を短く押して帯域幅を 1.80kHz、1.00kHz、6.00kHz、4.00kHz、3.00kHz、2.50kHz、および 2.00kHz に設定します。

14.1.2.[SET]を2回押します。MW 周波数 520KHz または 522KHz が点滅している場合、[MODE] を短く押して 520KHz または 522KHz を選択します。[SET] を短く押して確定します。

5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

表示520は、中波ステップ値が10kHz (または5kHz) で、受信範囲が520kHz~1710kHzであることを示しています。

表示 522 は、FM の中波ステップ値が 9kHz (または 3kHz) であり、受信範囲が 522kHz から 1710kHz の間であることを示します。

注: 米国、カナダ、メキシコ、およびその他の北米および南米諸国では、MW ステップ値は 10 kHz (または 5 kHz) に設定されています。他の国では、MW ステップ値は 9 kHz (3 kHz) です。

14.1.3. [SET] を 3 回押し、ATT. ATT の (LOCAL) または (NORMAL) が点滅し、MODE キーを短く押して DX/LOCAL/NORMAL を選択します。次に [SET] を押すと、ATT DX/LOCAL/NORMAL の点滅が止まります。

5 秒以内に操作がない場合、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトにすることができま

す。

14.2FM 受信状態:

14.2.1 [設定]を押します。帯域幅「BW」が点滅し、[MODE]を短く押して帯域幅を 40KHz、110KHz、84KHz、および 60KHz に設定します。

14.2.2.[SET]を2回押します。FM 周波数 64.00MHz、76.00MHz、または 87.5MHz が点滅し、[MODE] キーを押して 64.00MHz、76.00MHz、および 87.50MHz を選択します。次に、SET を短く押して現在の設定を確認します。デフォルト

5 秒以内に操作がない場合、現在の設定。

64.00MHzと表示されている場合は、この時のFM受信範囲が 64.00～108.00MHzであることを意味します。

76.00MHzと表示されている場合は、この時のFM受信範囲が 76.00～108.00MHzであることを意味します。

87.50MHz と表示されている場合は、その時点での FM 受信範囲が 87.50-108.00MHz であることを意味します。

.14.2.2. [SET] を 3 回押すと、ATT、DX、LOCAL、または NORMAL が点滅します。[MODE] を押して、ATT、DX、LOCAL または NORMAL を選択します。

・選択後、[SET]キーを押すと現在の選択が確定します。ATT、DX、LOCAL、NORMAL の点滅が止まります。5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

14.2.3. [SET] を 4 回押すと、「De-emphasis: 50us または Demphasis: 75us」が点滅します。[モード]を短く押して、ディエンファシス: 50us またはデンファシス: 75us を選択します。SETをもう一度押して、現在の動作を確認します。De-emphasis: 50us または Demphasis: 75us 単語の点滅が停止します。5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

14.2.4. [SET] を 5 回押すと、「STEREO」または「MONO」が点滅します。次に、MODE を短く押して「STEREO」または「MONO」設定を選択します。

SET を押して、現在の操作を確認します。5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

14.1: SW 受信状態:

14.3.1: [SET] を押すと、帯域幅の「BW」が点滅し、[MODE] を短く押して帯域幅を 3.00KHz、2.50KHz、2.00KHz、1.80KHz、1.00KHz、6.00KHz、4.00KHz に設定します。

14.3.2. 【SET】を2回押すと「SQ.OFF.00.ON」が点滅します。

「MODE」を押して、(SQ.ON.01~SQ.ON.09)SQ レベルを選択します。9つのレベルがあります。次に SET を短く押して、必要な SQ レベルを確認します。画面上で「VOL SQ」が点滅します。

5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

・SQ機能が不要な場合は、上記操作を押してVOL SQ OFFに切り替え、オートノイズ機能をOFFにしてください。

14.3.3. [SET] を 3 回押すと、ATT、NORMAL、DX、または LOCAL が点滅します。

- [MODE] を押して、ATT、NORMAL、DX、または LOCAL 設定を選択します。

その後、[SET]を短く押して設定を確定します。ATT、NORMAL、DX、または LOCAL の点滅が止まります。5 秒以内に操作がない場合、(DX) または (LOCAL) を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトにすることができます。

14.2.2. [SET] を 3 回押すと、ATT、DX、LOCAL、または NORMAL が点滅します。[MODE] を押して、ATT、DX、LOCAL または NORMAL を選択します。

・選択後、[SET]キーを押すと現在の選択が確定します。ATT、DX、LOCAL、NORMAL の点滅が止まります。5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

14.2.3. [SET] を 4 回押すと、「De-emphasis: 50us または Demphasis: 75us」が点滅します。[モード]を短く押して、ディエンファシス: 50us またはデンファシス: 75us を選択します。SET をもう一度押して、現在の動作を確認します。De-emphasis: 50us または Demphasis: 75us 単語の点滅が停止します。5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

14.2.4. [SET] を 5 回押すと、「・STEREO」または「・MONO」が点滅します。次に、MODE を短く押して「・STEREO」または「・MONO」設定を選択します。

SET を押して、現在の操作を確認します。5 秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

14.1: SW 受信状態:

14.3.1: [SET] を押すと、帯域幅の「BW」が点滅し、[MODE] を短く押して帯域幅を 3.00KHZ、2.50KHZ、2.00KHZ、1.80KHZ、1.00KHZ、6.00KHZ、4.00KHZ に設定します。

14.3.2. 【SET】を2回押すと「SQ.OFF.00.ON」が点滅します。

「MODE」を押して、(SQ.ON.01~SQ.ON.09)SQ レベルを選択しま

す。9つのレベルがあります。次にSETを短く押して、必要なSQレベルを確認します。画面上で「VOL SQ」が点滅します。

5秒以内に操作がなければ、現在の設定をデフォルトにします。

・SQ機能が不要な場合は、上記操作を押してVOL SQ OFFに切り替え、オートノイズ機能をOFFにしてください。

14.3.3. [SET] を3回押すと、ATT、NORMAL、DX、またはLOCALが点滅します。

- [MODE] を押して、ATT、NORMAL、DX、またはLOCAL設定を選択します。

その後、[SET]を短く押して設定を確定します。ATT、NORMAL、DX、またはLOCALの点滅が止まります。5秒以内に操作がない場合、(DX)または(LOCAL)を終了して操作を切り替え、現在の設定をデフォルトにすることができます。

もう一度[SET]を短く押すと、ATT/DX/LOCAL/NORMALディスプレイの点滅が止まります。(DX)または(LOCAL)は、5秒間操作がなければ終了し、現在のデフォルト設定にワークが切り替わります。

14.1: CB (シティバンド受信) ステータス:

14.5.1: [設定]を押します。帯域幅(BW)の数字が点滅したら、[MODE]を短く押して、帯域幅を3.00KHZ、2.50KHZ、2.00KHZ、1.80KHZ、1.00KHZ、6.00KHZ、および4.00KHZに設定します。

14.5.2: [SET]を2回押すと、SQ (SQ.OFF.00)が点滅します。[モード]を短く押して、(SQ.ON.01~SQ.ON.09)のSQを選択します。SQ OFFが不要な場合は、[SET]をもう一度短く押してください。SQ (SQ.ON.01~SQ.ON.09)が点滅しているときに、MODEを短く押して(SQ.OFF.00)を選択し、SQをオフにします。

14.5.3: [SET]を3回押すと、ATT/DX/LOCAL/NORMALが点滅し、[MODE]を短く押してATT/DX/LOCAL/NORMAL設定を選択します。

- [SET]を短く押します。ATT/DX/LOCAL/NORMALの点滅が止まります。ATT/DX/LOCAL/NORMALは5秒以内に操作がないと終了し、現在のデフォルト設定にワークが切り替わります。

14.1: VHF(UHF)状態:

14.1.1.[設定]を押します。「BW」が点滅したら、[MODE]を短く押して帯域幅を1.70KHz、4.50KHz、3.75KHz、2.50KHzに設定します。

14.1.2.[SET]を2回押すと、SQ設定(SQ.OFF/ON.00)が点滅します。次に、[モード]を短く押して、(SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09)のSQを選択します。

SQ OFFが必要な場合は、[SET]を2回目に短く押してSQ (SQ.ON.01~SQ.ON.09)が点滅したら、(SQ.OFF.00)まで(MODE)を短く押し

てください。)表示されています。この時点で、SQ OFF は閉じられます(注: SQ OFF は調整可能な 9 レベルに設定されており、実際の要求に応じてレベルを選択できます)。

14.1.3. [SET] を 3 回押し、ATT/DX/LOCAL/NORMAL が点滅し、[MODE] を押して DX/LOCAL/NORMAL を選択します。

- 次に、[SET] を短く押すと、ATT/DX/LOCAL/NORMAL の点滅が止まり、現在の操作が確認されます。DX/LOCAL/NORMAL は 5 秒間操作がないと終了し、現在の初期設定に切り替わります。

14.2UBD (カスタマイズされた受信) ステータス:

14.2.1.[設定]を押します。「BW」が点滅したら、[MODE] キーを短く押して帯域幅を 1.70KHz、4.50KHz、3.75KHz、2.50KHz に設定します。

14.2.2.[SET]を2回押すと、SQ(SQ.OFF/ON.00)が点滅します。次に、[モード]を短く押して、(SQ.ON.01 ~ SQ.ON.09) の SQ レベルを選択します。

[SET] を押すと、「VOL SQ」の点滅が止まり、現在の設定が確認されます。

・SQ機能が不要な場合は、上記操作を押してVOL SQ OFFに切り替え、オートノイズ機能をOFFにしてください。

14.2.3. [SET] を 3 回押すと、ATT/DX/LOCAL/NORMAL が点滅し、[MODE] を短く押して ATT/DX/LOCAL/NORMAL 設定を選択します。

-[設定]を押します。ATT/DX/LOCAL/NORMAL の点滅が止まります。

ATT/DX/LOCAL/NORMAL は 5 秒間操作がないと終了し、現在の初期設定に切り替わります。

14.2.4. [SET] を 4 回押すと、UBD の前の最初の数字が点滅します。

- [MODE] を押すと、ディスプレイにローエンドの「」記号が表示されます。「または」を押してデータを調整し、[STEP] を押してカーソル位置を移動し、を押します。

「または」を使用して、目的のローエンド「」周波数範囲を設定します。

- [モード] を短く押すと、ハイエンドの「」記号が表示されます。[TUN" または"] を押してデータを調整し、[STEP] を押してカーソル位置を移動してから、"または" を押して希望のハイエンド"周波数範囲を設定します。

- [SET] を短く押して設定を確定します。(調整可能な周波数範囲: 30MHZ-520MHZ)

1.WX (北米気象バンド) :

WX には 7 つの固定周波数があります。

162.400MHZ、162.4250MHZ、162.4500MHZ、162.4750MHZ、

162.5000MHZ、

162.5250MHZ、162.5500MHZ

、[TUN] ↑を↓押します。]を押して必要な周波数を選択するか、シャトルサイクルを回して目的の周波数ポイントを選択します。

SETを長押ししてALERTモードに入り、「SCAN」が表示されます。警報信号を受信すると、警報受信チャンネルが自動的に開始されます。警告受信モードを解除するには、もう一度SETを長押しします。

オレンジ色のバックライトについて:

夜間や暗い場所での使用を容易にするために、このラジオには特別に暖かいオレンジ色のライトが装備されています。時計がオフのときに、任意のキーを押してLCDディスプレイを起動すると、バックライトが自動的にオンになります。LCD & バックライトを10秒以内に操作しないと、自動的にオンになります。オフ、表示が消えます。ラジオをオンにすると、10秒以内に操作が行われないと、バックライトが自動的にオフになります(ラジオ局を自動検索するときの10秒間のバックライトに制限されず、10秒後にバックライトが自動的にオフになります)自動ステーションサーチを停止する)

アンテナの使用

1.FM、SW、VHF、UHF、AIR、UBDで同調する場合

本機は、FM放送を受信する7分割アンテナを採用しています。放送を聞くときは、アンテナを引き出すか、3.5mm穴3.5mmのある外部アンテナを挿入する必要があります。

注: 電波干渉が強い場合、信号の受信が乱れます。アンテナを短くしたり、ATT Localモードを設定したりできます。

1.中波ラジオを受信する

本機は、受信信号に方向性を持つ磁気受信アンテナを内蔵しています。そのため、中波を聞く場合は、ラジオ本体を適切に回転させて、最適な受信位置を見つける必要があります。

主な技術的パラメータ

US

Technical Data	
Frequency Range	Sensitivity
FM:88-108MHZ	1uv
AM:540-1700KHZ	1.5mV/M
SW:3.200-30.00MHZ	10uV
CB:26.965-27.405MHZ	10dBuV
AIR:118.00-137.00MHZ	1uv
VHF UHF:20.000-520MHZ	-9dBuV
VHF 30.00-223.00MHZ	-9dBuV
VHF 144.00-148.00MHZ	-9dBuV
VHF 156.025-163.275MHZ	-9dBuV
UHF 430.00-520.00MHZ	-9dBuV
WX:162.400-162.550MHZ	-9dBuV

Demodulation	Band
Method	
WFM	FM Band
AM	MW Band
AM/SSB/LSB	SW Band
AM/NFM	CITY Band
AM	AIR Band
NFM	Wide frequency reception band (include VHF, UHF)
WFM	VHF
NFM	Amateur Band
NFM	International Maritime Channel
NFM	Amateur Band
NFM	NOAA WX

Size	111X60X20MM
Lithium Battery	BL5C 1000mAh 3.7v 3.7WH
Speaker	Φ40MM 8Ω 2W
Headphone Jack	3.5MM Stereo input
Antenna hole	3.5MM

Europe

Technical Data	
Frequency Range	Sensitivity
FM:87.5-108MHZ	1uv
LF: 148.5 - 283.5 kHz; MF:526.5 – 1606.5 kHz;HF: 3950 – 4000 kHz; 5900 – 6200 kHz; 7200 –7450 kHz; 9400 – 9900 kHz; 11600 kHz - 12100 kHz, 13570 – 13870 kHz; 15100 - 15800 kHz17480 - 17900 kHz; 18900 -19020 kHz, 21450 – 21850 kHz; 25670 – 26100 Khz;	1.5mV/M
SW:3.200-30.00MHZ	10uV
CB:26.965-27.41MHZ	10dBuV
AIR:118.00-136.975MHZ	1uv
VHF UHF:30.000-520MHZ	-9dBuV
VHF 30.00-223.00MHZ	-9dBuV
VHF 144.00-146.00MHZ	-9dBuV
VHF 156.025-163.275MHZ	-9dBuV
UHF 430.00-440.00MHZ	-9dBuV

Demodulation Method	Band
WFW	FM Band
AM	MW Band
AM/SSB/LSB	SW Band
AM/NFM	CITY Band
AM	AIR Band
NFM	Wide frequency reception band (include VHF, UHF)
WFM	VHF
NFM	Amateur Band
NFM	International Maritime Channel
NFM	Amateur Band

Size	111X60X20MM
Lithium Battery	BL5C 1000mAh 3.7v 3.7WH
Speaker	Φ40MM 8Ω 2W
Headphone Jack	3.5MM Stereo
Antenna hole	3.5MM

注意:

- 1) 低い音、音の歪み、ピープ音はすべてバッテリーが不足していることを示しています。時間内にバッテリーを充電してください。
- 2) 強い力を加えたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 3) 直射日光の当たる場所、高温になる場所、湿気の多い場所、 -5°C 以下、 $+50^{\circ}\text{C}$ 以上の環境では使用しないでください。
- 4) ケーシングの表面を保護するために、化学試薬を使用してケーシングを拭かないでください。
- 5) 機械を分解したり、内部コンポーネントのパラメータを調整したりしないでください。
- 6) 明らかな人為的損傷 (アンテナの破損、曲げ、脱落、バッテリー液漏れ、腐食) は保証の対象外です。
- 7) アウターシェル、外部アンテナ、シャーシ、バッテリー、ヘッドセット、充電ケーブルなどの付属品は無料保証の対象外です。
- 8) 製品のアンテナは、比較的長い7セクションロングロッドアンテナ (露出部分は56CM)です。折れないように曲げないでください

